



鳩山町長

小峰孝雄

今回は新春対談として、第104回全国高等学校野球選手権大会において、東北勢初の全国制覇を成し遂げた、鳩山町出身で仙台育英高校野球部監督の須江航監督をお迎えし、お話を伺いました。生徒たちへの教育方法や故郷・鳩山町への思いをお話いただきました(文中敬称略)。

🌸 こともちたちの対談が重要

町長 鳩山町人権問題を考える町民の集い(令和5年12月2日開催)では、講演をしていただきました。ありがとうございます。講演会の中でもお話しいただきましたが、指導者として生徒と日々関わる中で、接するとき意識されていることはどんなことでしょうか。

須江 今はこともちたち一人一人のキャラクターが、昔に比べるとすごく立ってるんですね。それは情報があつて、モデルとなるような、インフルエンサーと呼ばれるような人達とか、芸能人が昔に比べると身近になったので、なりたい自分がより見えているところがあると思うんです。だからこそ個人のキャラクターが立ってるので、個人の理解をしっかりとあげないと集団としての体をなさないですよ。

なので、一律に何かを教えるというのがとても難しい時代になっていると思います。対話を通じ

たコミュニケーションを増やしていく必要があるのかなっていう風に思ってますね。

🌸 町としての課題

町長 教育の根本的な役割っていうのは、ご自身の自己実現をどう手助けしてあげることかなと思ってるんです。行政として、自らの夢や希望を叶えるための環境作りを、どういう形でお手伝いできるかということじゃないかなと思います。

須江 仙台では行政の皆さんとお話し合いに、ご招待いただき、ことが多いんですが、鳩山独自の問題や課題があると思うんですね。

僕としては、こともちたちにさせていただいた教育ってとてもシンプルで、それは「本物に触れること」です。その各分野のプロフェッショナルな人間に触れてもらいたいですね。それがリアルで触れてもらうことができれば一番良いですが、オンラインであろうと、そういう機会を

仙台育英学園高等学校
硬式野球部監督

すえ
航
わたる



Profile

仙台育英学園高等学校 硬式野球部監督
1983年生まれ 鳩山町出身
大学卒業後の2006年、創部間もない仙台秀光中等教育学校の野球部監督に就任し、2014年には第36回全国中学校軟式野球大会で優勝。2018年より仙台育英学園高等学校硬式野球部監督を務める。2022年8月、第104回全国高等学校野球選手権大会において優勝、東北勢初の全国制覇に導いた。(中学、高校ともに日本一に導いた史上初の監督)2023年2連覇を狙った第105回大会でも強豪を撃破し、決勝戦まで進出、準優勝を飾った。

ちに提供していただきたいです。東京都じゃないとことも育たないわけじゃないですから、むしろ鳩山っていう環境の中でこそできることっていうのがあると思います。部活なども活動しづらい時代になってるので、その代わりに、その時間向するのとなつたら、そういうような時間にしていただきたいなっていう風に思います。こともちたちを育てていく上で、職業観みたいなものを養ってもらいたいです。

あとは鳩山町は空き家とか多いじゃないですか？空き家の有効活用とか、リノベーションのすぐくテーマになっていくと思います。

私が鳩山町で住んでいたころも一度更地にして、そのあとに住まわれている方って、まさにそういう使い方されてるんですよ。リノベーションで事務所兼住居みたいなできれば、そこにオフィス街みたいなものができるかもしれない。今はどこにいても仕事ができる時代なので、地域との結びつきとか、連携とかは無限の可能性があると思います。

町長 今年は、空き家等の利活用と同時に子育て世代の移住を支援していきたいと考えています。須江監督が言われたような面も

町長 今日、講演を聴いていて素敵な教育観を持っていらっしゃると思えました。須江監督はどこでこういった教育観を身に着けたんでしょうか。

🌸 須江先生の教育観について

須江 ありがとうございます。どこで学んだのかっていうのは分かりませんが、日頃の自分です。だから、私自身、目の当たりの場所に、ずっとなかなかです。ね。こうだったらいいなあみたいなことは思っていて、高校生の時も、控えの選手でもこういう風に練習できたらいいなとか、逆にできる側の気持ちも分からないので、プロに行くような子たちの気持ちの方が分かってあげられなくて、うまく成果が出てない子やコンプレックス抱えている子の

気持ちの方が分かんんです。
町長 そうすると、例えばどこかで教育観を学んでというよりは、自身の長い経験の中で積み重ねたものが集大成としてできてきたということですか。

須江 そうですね。特別なことをしたといえ、25歳から30歳の間でジャンルを問わず、サッカー、バスケットボール、バドミントン、水泳、吹奏楽、演劇、マーチングなどの有名な高校や中学校の先生のとこを訪ねて練習を見学させていただいたり、その先生とお話しするみたいなことはしました。それがかなり影響を受けています。私は結局何者でもないので、何も持っていないから持っている人のところに行くっていう一番するいやつです(笑)。



甲子園で、夢みたいな目標ですが、 奇跡の3年連続決勝を戦えると信じて、 地道に頑張ります



今年の抱負

須江 一昨年(2022年)と昨年(2023年)は本当に東北6県と鳩山の方にたくさん応援していただきました。
鳩山町の「町民の集い」にお越しいただいた方にもとても暖かい言葉をいただきましたけど、本当に声って届いているんですよ。こういう時代なので僕のSNSに当時の同級生とか鳩山町民の方から激励のメッセージをいただきました。SNSだけではなく、学校仙台育英にフアックスとかテレビ局にメールとか、様々な形でこの2年間、鳩山というフレーズを目にできました。
2年連続で決勝に進められたとはいえ、そんな順風満帆じゃないですから、うまくいかない時も多く、たくさんありました。そういう時に本当に励ましていただいたん

と、そうなんですし、成人式以来の人と、中学校の在学中以来の人に今日声をかけてもらったんですけど、それってやっぱり鳩山町ならではだと思えます。鳩山町では当たり前ですけど、人との関わり合いが深いってことです。
例えばこれが仙台市だと人口は100万人を超えてるので、そういう中で一人一人の深い繋がりを作るの、すごく難しいんです。鳩山だからこそ、多くの方とリアルの中で深い人間関係があったりとか、親同士の繋がりがとか、いろんな形で1つなんです。よね、とってもあたたかい町に住んでるといっては、多分将来の財産になると思うんです。
卒業しても、町を離れても、大人になっても、いろんな形でずっと繋がっているような素敵な関係が構築できる町だと思うので、鳩山町に誇りを持って、頑張ってもらいたいと思います。

地道に頑張りたいなと思っております。どうぞ応援いただけたらなと思っております。
町長 昨年の甲子園は初戦で埼玉県代表の学校と仙台育英が対戦していましたが、須江監督がいらっしゃるので、やはり仙台育英を応援してしまう場面もありました。
須江 気にかけていただいて本当にありがとうございます。私、私の今年の抱負ですが、私が町長に就任した時には高齢化率が急激に上がっている時期でしたので、健康づくりを前面に考えて、挑戦してまいりました。その成果が大きく上がってきておられて、健康寿命は男女とも県内トップクラスでございます。そうした成果を背景にしながら、今後はやはり少子化の課題に



鳩山町のことも大切に

須江 いま中学校は1学年何人ぐらいですかね、100人いないですね。鳩山のことも大切に

地域格差はない... 可能性は無限大 将来、なににだってなれる

は、ずれているかもしれないんですけど、鳩山に住んでると、彼らはどう思っているんですかね？
僕は、地域格差はないと思っていて全部自分次第。家にインターネット環境がない家庭はほぼないと思いますから、自分次第で自分を作っていくってことを伝えてあげたいですね。
例えば、東京都に住んでいないこととか、いろんなことに恵まれてないこととか、1学年が何百人もいる大規模学校じゃないこととか。そんなにハンディキャップじゃないんですよ。
だから、可能性って本当に無限大なので、子どもたちからしたら、頑張れば将来、なににだってなれるので、自分の可能性に限界を決めないでやれると信じていろんなことに取り組んでもらいたいですね。
あとは、私もですが、年配の方々に気にかけてもらったりするこ

ともそうだし、成人式以来の人と、中学校の在学中以来の人に今日声をかけてもらったんですけど、それってやっぱり鳩山町ならではだと思えます。鳩山町では当たり前ですけど、人との関わり合いが深いってことです。
例えばこれが仙台市だと人口は100万人を超えてるので、そういう中で一人一人の深い繋がりを作るの、すごく難しいんです。鳩山だからこそ、多くの方とリアルの中で深い人間関係があったりとか、親同士の繋がりがとか、いろんな形で1つなんです。よね、とってもあたたかい町に住んでるといっては、多分将来の財産になると思うんです。
卒業しても、町を離れても、大人になっても、いろんな形でずっと繋がっているような素敵な関係が構築できる町だと思うので、鳩山町に誇りを持って、頑張ってもらいたいと思います。

須江監督にご講演いただきました

令和5年度 鳩山町人権問題を考える町民の集いを開催しました

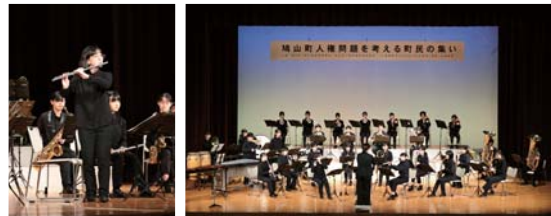
令和5年12月2日(土)、町文化会館で「鳩山町人権問題を考える町民の集い」が開催され、会場には子どもから大人まで、延べ516人が訪れました。

当日は、鳩山中学校吹奏楽部の演奏、小中学生の人権作文朗読、仙台育英学園高等学校 硬式野球部の須江 航監督による講演を行いました。

来場した方からは、「人権作文の発表にとっても考えさせられました」「鳩山中学校吹奏楽部の演奏はとても感動しました。久しぶりの参加でしたが、有意義な時間を過ごせました」「須江さんの言葉には実行してきた重みがありました」「今の子たちの特性もよく分かりました。楽しい時間でした」などの感想をいただきました。



▲「伝わる言葉〜大切にしたい、幾つかのこと〜」と題したご講演をいただきました。



▲鳩山中学校吹奏楽部による演奏



▲人権作文を朗読した皆さん